

チャンス・チャレンジ・チェンジ

秋田県立養護学校天王みどり学園 加賀谷 勝



「障害理解教育」出前授業スタート



5月下旬から障害のある人の理解を促すとともに、自分たちの周りにはいろいろな人がいることへの理解（他者理解・多様性の理解）もねらい、出前授業をスタートさせた。交流及び共同学習の事前学習として、本校の紹介や実際に交流をする子どもの紹介の他に、相手の気持ちを考えて行動する大切さを体感するコーナーも取り入れている。

先生方の声

障害のある子どもと接するためには、必ず設定すべき時間だと思いました。

子どもたちの声（2年生）

〇〇さんと遊ぶときは、車いすだからやさしく押したいです。〇〇さんと友達になりたいです。〇〇さんと早く会いたいです。



笑顔いっぱいの学校間交流

今年度は幅広いニーズに応えるために「障害理解教育メニュー」（8種類）を用意した。これまで小学校低学年や高学年という大きな集団で授業を進めていたが、子どもの実態に合わせたねらいや内容を設定したり、各教科や総合的な学習の時間ともリンクさせたりするために、学年単位で実施したいと考えている。今月から来月にかけて、男鹿市立船川第一小学校で、学年ごとに計6回の出前授業を予定しており、他校のモデルケースにしたい。視覚障害や聴覚障害などに特化した授業も計画しており、県内の特別支援学校間のネットワーク構築と、より専門性を生かした授業を提供したい。

〈出前授業「障害理解教育」メニュー〉

メニュー1

「いろいろな人がいるよ」
～障害特性と工夫～
・天王みどり学園の紹介
①特別支援学校の特色
②障害特性と工夫
・体験コーナー
ジェスチャーゲーム
フラフープリレー
トラストアップ 等

メニュー2

「誰のための工夫かな？」
～みんなが生活しやすい工夫～
・クイズ 誰の工夫？
①視覚障害②聴覚障害
③肢体不自由④みんな
・体験コーナー
バースデーチェーン
点字 手話
伝言ゲーム 等

メニュー3

「耳の不自由な人を理解しよう」
～聴覚障害の特性と関わり～
・聴覚障害の基礎知識
耳の構造
耳が聞こえる仕組み
補聴器や人工内耳
・難聴疑似体験
・聴覚障害の人への対応 等

メニュー4

「目の不自由な人を理解しよう」
～視覚障害の特性と関わり～
・視覚障害の基礎知識
目のしくみ
見えにくさの原因
視力について
・疑似体験
目の不自由な人をガイドする
・見えにくさを補う工夫

メニュー5

「手足や体の動きが不自由な人を理解しよう」
～肢体不自由の特性と関わり～
・肢体不自由の基礎知識
手足や体のしくみ
・車いすの構造
操作のポイント
・車いす体験
直線、曲線、段差

メニュー6

「見えない障害の人を理解しよう」
～発達障害の特性と関わり～
・発達障害とは？
・疑似体験
読む・書く・聞く・感じ方
・困り感を補う工夫
・体験しよう
友達のいいところ探し等

メニュー7

「もしもこんなとき、
どうする？」
～思いやりってなんだろう～
・教室でのエピソード
本を読むのが苦手な友達
補聴器をかけている友達
・校外でのエピソード
白杖を使用している人
車いすを利用している人等

メニュー8

ボランティア養成講座
「子どもの困り感の理解と支援」～障害の捉え方～
・障害の捉え方
WHOの考え方
1/4の奇跡の本
・障害に関すること
知的障害・自閉症 等
・体験しよう

・障害理解の発達段階は、「障害のある人に気付く⇒差異のもつ意味を知る⇒社会的な痛みを心で感じる⇒障害者に対する適正な態度ができる⇒生活場面で実践的な行動ができる」と言われている。各学年の発達段階に応じた内容を系統的に計画して、実践的行動の実現を目指したい。